

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 集うことを大切にする小平市であるために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2023 年 5 月新型コロナウイルス感染症が 5 類に位置付けられ、市が実施する行事やイベントも少しずつ再開されてきました。コロナ禍では多くの人がオンライン会議などを利用するようになりましたが、一方で人と直接会うこと、集うことの大切さも再確認しました。

小平市の自治会の加入率は 2023 年度に31%となり下がる一方です。人と人との関係が築きにくい今日、集うことに着目したまちづくりを進めることが必要と考えます。以下、質問します。

- 1、市民が集うこと、コミュニティを築くことの重要性について、市としてどのように捉えていますか。
- 2、地域センター、公民館の集会施設の利用数の直近 5 年間の推移をお示ください。
- 3、市民団体などのイベント開催に対し、市としてどのような支援策がありますか。
- 4、市などが開催するイベントやお祭りへの市民の参加について
 - ① 環境フェスティバル、グリーンフェスティバルへの来場者数の直近 5 年間の推移をお示ください。
 - ② 産業まつりへの来場者数の直近 5 年間の推移をお示ください。
 - ③ 灯りまつりの来場者数の直近 5 年間の推移をお示ください。
- 5、自治会など地域でのイベントの開催に対し、市としてどのような支援策がありますか。
- 6、市 HP のイベントカレンダーのトップページへのアクセス状況について、直近 3 年間分をお示ください。
- 7、ゆるやかに集う場として公園や広場について
 - ① 市 HP では「市内公園は、原則花火の使用は禁止していますが、試行的に13か所の公園について花火の使用を開放します。」と記載されていました。8 月中の試行では、どのような感想が寄せられていますか。来年も継続していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
 - ② 小川駅西口新公共施設(仮称)小川にぎわい広場では、人が集まり憩うためにどのような工夫をしますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2025 年 9 月 1 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)